

様式第 1 号 (第 3 条関係)  
奨学金貸付申請書

申請番号	—
受付	<b>記入不要</b>
登録番号	—

申請内容 (申請者本人記入)

**自宅外通学は選択した金額を記入**

奨学金の種類 (希望する奨学金を○で囲む)	<b>修学資金</b>	自宅通学	月額 4万円
		<b>自宅外通学</b>	月額 <b>5</b> 万円 (4万又は5万円から選択)
	<b>入学一時金</b>	希望額	<b>300,000</b> 円
		早期貸付希望	<b>有</b> : 無
(フリガナ)申請者氏名	<b>ニコウ ハナコ</b> <b>日光 花子</b> <b>印</b>	性別 <b>女</b>	生年月日 <b>平成15年7月25日</b> (満18歳)
住所	〒 <b>321-XXXX</b> <b>日光市〇〇町1</b> <b>※申請時点の住所</b>		在学学校名 <b>〇〇大学</b>
			学年 <b>第1</b> 学年

**入学一時金は希望する金額を記入  
早期貸付希望者は有に○をつける**

上記の者、日光市奨学金貸付条例による奨学生として貸付けを受けたく、連署してお願いいたします。

なお、奨学生として本条例及び関係規則に従い連署していただきます。

**認印で押印下さい**

**令和5年4月に入学  
又は在学する学校・学年を記入**

令和〇年〇月〇日

**※書類を提出する日です** 保護者 住所 〒**321-XXXX**

**日光市〇〇町1**

(フリガナ)

**ニコウ カズオ**

氏名

**日光 一男**

生年月日

**昭和49年4月1日生**

本人との続柄

**(父)**

電話番号 (固定)

**0288-22-XXXX**

(携帯)

**090-0000-XXXX**

連帯保証人

住所

〒**321-XXXX**

**日光市〇〇町2**

(フリガナ)

**トキギ タロウ**

氏名

**栃木 太郎**

生年月日

**昭和47年6月1日生**

職業

**会社員**

本人との続柄

**(伯父)**

電話番号 (固定)

**0288-21-XXXX**

(携帯)

**080-0000-XXXX**

**実印**  
で押印下さい

**別世帯の方  
(住民票全員写しに記載されていない方)  
かつ市税に滞納がないこと**

日光市長 様

**氏名は住民票に記載されている  
全員分記入してください。**

家庭の状況

家族の住所		日光市〇〇町1			電話番号	0288 (22) ××××
生計を一にする家族	家計支持者	父	日光 一男	47	××会社 54-××××	550万
	同居・別居	母	日光 良子	45	〇〇会社 23-××××	300万
	同居・別居	祖母	日光 フジ	72	無	60万
	同居・別居	弟	日光 学	13	〇〇中学 1年	
	同居・別居	本人	日光 花子	18	〇〇高校 3年	
	同居・別居					
	同居・別居					
※ 家族内で在学し さい。		同居・別居・学校等の状況は、 提出(申請)時の状況で記入してください。				入してくだ
※ 申請者本人は続 ててください。(例:父、姉)						性を記入し
父母死亡の場合	死亡年月日 (死亡時年齢)			年 月 日 ( 歳)		

奨学金を受ける理由 (必ず申請者本人が詳細に記入すること)

**☆必ず奨学金を受けようとする理由を記載してください。**

**【記入例】私は、〇〇を目指しており、都内の大学に通うため一人暮らしを予定しています。大学の学費は、日本学生支援機構からの奨学金の他、半分を親に負担してもらおう予定です。生活費は自分自身でアルバイトをして賄おうと考えていますが、兄弟も学生で学費がかかるため親の負担をなるべく軽くできるようにしたいと考えています。そのため、安心して勉学に励めるよう日光市の奨学金の貸付けを受けたく申請いたします。**

【以下のことについて、奨学生・保護者・連帯保証人は承諾の上、申請してください】

- ※1 保護者の市外転出、学業成績・素行不良、退学等、奨学金の貸付を受ける要件を欠いた場合には、奨学金を一括償還していただきます。
- ※2 奨学金の貸付けが完了したときには、保護者及び連帯保証人と連署の上、「奨学金借用証書」を提出していただきます。  
提出されない場合、奨学金の一括償還を請求します。
- ※3 奨学金の返還を正当な理由無く遅延した場合、連帯保証人への連絡や請求を行い、年14.6%の延滞利息や奨学金の一括償還を請求します。

## 様式第2号 (第3条関係)

## 奨学生推薦調書

(フリガナ) 氏名	-----	性別	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所					
学校名		課程			
入学等	年 月 入学・編入学・転入学				
	年 月 卒業・卒業見込み				
人物所見	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p><b>在学校に様式を提出し、作成を依頼します。 (申請時は未開封のまま提出してください)</b></p> <p><b>※大学入学時に申請する場合は、卒業予定の高校に依頼する。</b></p> <p><b>※大学在学中に申請する場合は、大学の学 校長に依頼する。</b></p> </div>				
成績所見					
健康所見					
その他参考事項					
授業料減免の状況	無 ・ 有 (月額 円に対し 円減免)				
<p>上記記載のとおり貴市の奨学生として適当の者と認め、推薦します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>日光市長 様 <span style="float: right;">学校長 <span style="float: right;">印</span></span></p>					

令和5年度申請書添付用

所得証明書

令和 年 月 日

日光市長 様

太枠内に、氏名を記入し、  
「税務課市民税係」で証明を受けてください。  
※18歳以上の方全員（ただし、学校に通っている方は除く）

世帯主住所 **日光市〇〇町1**  
 世帯主氏名 **日光 一男** (印)  
 申請者氏名 **日光 花子** ← 奨学生氏名を記入  
 (奨学生)

奨学金貸付申請のため、下記事項についての証明を請求します。

記

申請者記入欄		令和 年中の所得(市町証明欄) ※(注)							
生計を一にする家族全員(就学者を除く)の氏名を記入してください		給与及び年金所得 上段に給与及び年金所得(控除後の金額)を、 下段に収入金額(控除前の金額)を併記して下さい	給与以外の所得 基礎控除等の「所得控除」を行う 前の金額		控除対象 配偶者の 有無	配偶者を除く扶養 親族の数			
申請者 との 続柄	氏 名		給与以外の所得額 (一時所得・譲渡所得 及び年金を除く)	給与以外 の所得の 種類		老人	特定	16 歳未 満	そ 他
父	<b>日光 一男</b>	円	円		有・無				
母	<b>日光 良子</b>	この欄には、記入しないでください。 税務課で記入します。							
祖母	<b>日光 フジ</b>								
父母 以外 の者		円	円		有・無	人	人	人	人
		円	円		有・無	人	人	人	人

※(注)奨学金の申請日が令和5年6月30日までの場合は、令和3年中の所得証明を、  
申請日が令和5年7月1日以降の場合は、令和4年中の所得証明を受けてください。

第 号

令和 年 月 日

上記のとおり証明します。

日光市長 粉 川 昭 一

税の納付状況に関する調査の同意書

日光市長 様

私は、日光市奨学金貸付申請に関し、市税の納付状況の調査を受けることに同意します。

令和〇年〇月〇日

(保護者)

**保護者・連帯保証人の住所氏名を  
記入し、それぞれ押印下さい。  
(認印で結構です)**

住所 **日光市〇〇町1**  
氏名 **日光 一男** (印)

(連帯保証人)

住所 **日光市〇〇町2**  
氏名 **栃木 太郎** (印)

**連帯保証人が日光市在住でない場合は、記入の  
必要はありませんが、別途、お住まいの自治体で  
市町村税を完納していることを証明する書類が必  
要になります。(課税証明書は不可)  
「記入例5」を参考にしてください。**

**連帯保証人が、市外の方の場合に必要な書類**

① 印鑑証明書

② 市町村税を完納していることを証明する書類(滞納していないことがわかる書類)

日光市の場合は、以下の完納証明書となりますが、自治体によっては、納税証明書となるなど様式が異なりますので、詳しくは各自治体の税金の担当課にお問い合わせください。

※課税証明書ではありませんので、ご注意ください。

市 税 完 納 証 明 書

納 税 義 務 者	氏 名	
	住 所	栃木県日光市

上記の者は、日光市税に滞納がないことを証明します。

証 第  号      令和  年  月  日

栃木県日光市長  
粉川 昭一

この証明書には「すかし」等の不正防止処置を施してあります。

## 日光市奨学金償還免除制度のお知らせ

日光市では、学校を卒業後に、一定期間日光市に定住する方を対象として、奨学金償還の一部を免除する制度を開始しました。

### 免除対象者

現行の日光市奨学金貸付金制度を利用している方のうち、下記の条件に該当する方の修学資金の償還の一部を免除します。

- (1) 奨学金の貸付を2年以上受けて、大学、短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業後、平成28年4月以降に奨学金の償還を開始する(平成27年3月31日以降に卒業した)方
- (2) 学校等を卒業した翌月から、奨学金の償還が完了する日までの間に、日光市に住所を定め、引き続き5年間定住して就労する方
  - ※在学中から市内に住所を定めている方も対象になります
  - ※日光市に在住していれば、市外で就労している方も対象になります
- (3) 奨学金の償還及び市税納付に滞納がない方

### 免除の対象外の奨学金

- (1) 入学一時金
- (2) 高等学校(高校生)の修学資金

### 償還免除額

奨学金(修学資金)の償還期間(貸付期間の3倍の期間)において、各年度で均等償還する場合の免除要件を満たした時点の償還残額。ただし、貸付総額の $\frac{1}{3}$ を上限とします。

学校別	貸付月額	貸付期間	貸付総額	返還期間	免除上限額
大学	4万	4年	1,920,000円	12年	640,000円
	5万	4年	2,400,000円		800,000円
短大	4万	2年	960,000円	6年	320,000円
	5万	2年	1,200,000円		400,000円
専門学校	4万	2年	960,000円	6年	320,000円
	5万	2年	1,200,000円		400,000円
	4万	3年	1,440,000円	9年	480,000円
	5万	3年	1,800,000円		600,000円
高等専門学校※	2万	5年	1,200,000円	15年	160,000円
	3万	5年	1,800,000円		240,000円

※高等専門学校においては、高等学校に相当する3年間は免除対象としない。

### 申込方法

申請時に下記の書類を提出ください。

- ① 奨学金償還免除事前申請書 (日光市のホームページからダウンロードできます)
- ② 就労証明書 (日光市のホームページからダウンロードできます)
- ③ 住民票本人写し

※現在、奨学金の貸与を受けている方は、**償還開始時に申請**してください。

※事前申請書提出後、5年間の定住、就労及び市税・奨学金の滞納がないことが確認された時点で、再度申請が必要になります。